

祝・卒業 入会歓迎
平成2年5月19日 定時総会会場

JR郡山駅より徒歩5分
郡山ビューホテル
福島県郡山市中町3-1 〒963 ☎(0249)24-1111

福島県立郡山北工業高等学校

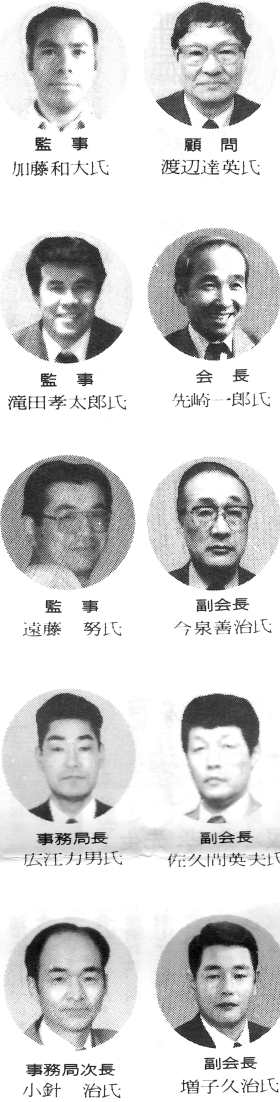
同窓会報

発行所
〒963 福島県郡山市富久山町八山田大林1
福島県立郡山北工業高等学校同窓会
郡山 (0249) 32-1199
発行者 先崎一郎 男
編集者 先崎一郎 男
発行部数 9,000 部
印刷 民報印刷

渡辺達英会長が勇退

新会長に先崎氏 (機31年卒)

平成元年度定時総会は、五月二十一日(日)午後二時から郡山市堤下町の「多楽食堂」で開かれ、佐藤正与学校長ら教職員、来賓の旧職員、同窓生五十人が出席した。総会では同窓会発足以来四十一年、会長を続けてきた渡辺達英会長が勇退、後任に昭和三十一年郡工機械科卒の先崎一郎氏が選ばれた。



顧問 渡辺達英氏
監事 加藤和夫氏
会長 先崎一郎氏
副会長 今泉善治氏
監事 遠藤 氏
事務局長 佐久間英夫氏
副会長 増子久治氏
事務局長 小針 治氏
副会長 増子久治氏

平成元年定時総会

今泉善治副会長の開会のことばで総会が始まり、渡辺会長より出席された来賓の紹介と広江事務局長から、職員紹介があり、議事が進み、決算報告、予算案等が別紙(四面参照)の通り承認された。次に規約一部改正につき事務局長より説明があった。副会長四名を、副会長三名にした。同窓会を代表して、新入会員を心から歓迎いたします。合わせて、卒業おめでとうございます。

戦後二番目に長かった岩戸景気に迫るほど長期に好景気の続く、まさに売り手市場の中で就職できる皆さんを見て、と、ほんとうに恵まれた時代に生まれてきているなど思います。まして労働条件や就労環境はますます改善されるでしょうし、企業側は社員一人一人の私生活を大事にするような経営風土が、これからの日本でも定着して行くように思われます。

白いキャンパスに豊かな将来像を

同窓会長 先崎一郎

世に出る皆さん方に、先輩の一人として現実的、将来的、個人的視点から少しばかりアドバイスをさせていただきます。これから皆さん方が社会人としてどうあるべきかを考える必要があり、これからの価値観で企業が社員に求めたものは、忠誠心、勤め、従属性など、かなり一方的なものであり、立派な社会人であるために、立派な企業人であることを要求し、受け加価値の高い仕事をしたる必要があります。これまでも、分業化などの進行で状況は一変しました。何年在社したか、(過去の経験の蓄積)とか、何時間働いたか、(長時間労働による貢献)は、ほとんど意味を持たなくなり、どれだけ加価値の高い仕事をしたか、(一点しほり)を求められ、勤め直型での知恵と発想、さらには情報などの豊富な人となりが、企業にとって重要な存在となってきたのです。勤め心が必要なチャンセルや好奇心が、別な会社に就職して、最後に同窓会の役割と存在

学校・同窓会の支援組織「北窓会」発足

初代会長は清水善一氏



清水善一氏

新執行部体制となった県立郡山北工高同窓会には、本会の会計が在校生の負担のみに頼っているという十分な活動ができていない。と、同窓会活動の活性化、卒業生(新入会員)のフォローアップや学校側への支援活動等を目的とした「北窓会」を、平成二年一月一日をもって発足させた。同窓会では、1.企業側、学校、同窓会三者の懇談及び情報交換、2.同窓会、企業内支部への組織活動の充実、3.求人・求職状況及び採用条件等の情報提供、4.発起人を代表して先崎会長がある製造業、建設業などにおいて、若年労働者の採用が年々深刻な増進しており、地域の企業にも大きな影響を与えております。このようなとき首都圏への流出を少しでも減らし、地元産業のため、地元にとどめる役割を我々は担わなければならない。さらに労働条件や労働環境の改善など、受け皿整備を、して魅力ある人(その会社)が使いものにならない人は敬遠される。以上三点を要約してみましたが、日常的にはまず良き社会人、地域人、家庭人、さらには国際人であり、柔軟な存在を求めています。社会へ出てからの駆け込み寺は同窓会、そんな気持ちで、何か困ったときは私の会社(自宅へ)連絡下さい。お待ちしております。

文房具・事務用品・ファンシー
アクセサリー・画材
渡辺達英 有限会社
代表取締役 渡辺達英
昭和24年機械科卒
郡山市麓山通り(市民会館入口) ☎(0249)22-1159

エンタープライズ、幹事、大沼良雄、天沼自動車整備工場、山田義順(山田設備工業)、増子久治、田村通信防災工業、石橋邦勝、テクノト、研、宮川正年(宮川工業所)、大塚正博、東陽工業、猪越幹雄、協栄ネジ、会計、今川直彰(川自動車)、会計監査、伊藤英二(伊藤商店)、事務局長、中村勝左門(東北工科大学)

頭がよいが、知識や能力があつて誰にもひけを取らないといつて、それが人生で成功することにつながる。人生に成功するには、何が必要かと言へば、人に好かれることと言われます。

アメリカのカリネギという人も「人の成功の八五割は人とうまく交流して、能力によるもので、専門の知識は一五割ぐらいの意味しかもない」と言っています。

どんな仕事でも、自分一人で行うことはなく、他人の協力があつて初めて成し遂げることが出来ることです。

それは、人に好かれるには、どうしたらよいか、人間関係を良くするにはどうするか、問題になります。明らな人になることだと思います。

日常生活を明るく送る努力をすることで、次第に明るさは身についてきます。ついで、優しく思いやり



校長 佐藤 正与 先生

人格や個性を大事に
「人間関係と名前」

学校長 佐藤 正与 先生



りをもつてであり、相手の立場に立つて考え、行動し、お互いに共感し合うことが信頼関係を作ることになり、他人に対する関心と優しい配慮がよい人間関係の基礎になります。

さらに、人々との関係の中で必要な礼儀を中心としたエチケットが人間関係を円滑にする潤滑油になります。

お互いの人格や個性を大事にするためには、相手の名前を覚えて、きちんと名前を呼ぶことです。そのことが人間関係を良くする事につながり、毎日の生活が楽しいものになると思います。

誰か返事をしませんでした。少し経って、斉藤さん、お薬ですよと呼ばれたら、先程から隣に座っていたお前さんが「はい」と元気よく立っていました。名前を確認することは、相手を引きかちと認める事でもあります。こんなことでもありました。四歳

昭和六十三年度末の人事異動で平成元年四月、福島県立郡山北工高に勤務することになり、早いもので九月が過ぎました。郡山北工高高等学校は、郡山工業高校と郡山西工業高校の二つの学校が一つになり、それぞれの学校が築いた伝統を引き継いだ新しい学校です。

県内の工業科を設置している高

三年に一度行われる北嶺祭が十月二十八・二十九の二日間、未来への発展をテーマに開催されました。

各科・各部・各クラブ・各委員会等が趣向をこらした実験や展示が六十六の部門にわたって展開され、多くの参加者より「校舎が奇麗で内容も素晴らしい」との評価を頂きました。

恒例の吹奏楽部定期演奏会も

評価された部活動
母校の近況

教頭 及川 利弥 先生

野球部は昭和五十三年に甲子園出場以来、勝連に見放されていすが、再び頭角を現わしてほしいものです。今年度より校内マラソン大会が実施され、全員の生徒が参加し汗と涙の思い出をつくり出しています。

本年一月十三日は郡山校長であった大原亨先生の敷四等瑞宝章叙勲祝賀会が郡山会館において盛大に行われました。

三〇〇〇社を教員、対応に感じ悪い鳴ったところ。最近、学校周辺は八山田土地画整理事業が進み、丘も林もなくなり道路が縦横に走り、内環状線が学校の南側に敷設されつつあります。あと数年で住宅が立ち並ぶ素晴らしい街に変貌するものと思われまふ。現在、校地周辺にフェンスをまわし、野球場にネットを張るなどの工事を進めています。

昭和六十三年度末の人事異動で平成元年四月、福島県立郡山北工高に勤務することになり、早いもので九月が過ぎました。郡山北工高高等学校は、郡山工業高校と郡山西工業高校の二つの学校が一つになり、それぞれの学校が築いた伝統を引き継いだ新しい学校です。

県内の工業科を設置している高

昭和六十三年度末の人事異動で平成元年四月、福島県立郡山北工高に勤務することになり、早いもので九月が過ぎました。郡山北工高高等学校は、郡山工業高校と郡山西工業高校の二つの学校が一つになり、それぞれの学校が築いた伝統を引き継いだ新しい学校です。

県内の工業科を設置している高

渡辺俊彦氏の講演を聴く
「定時制の一年」

教頭 大塚 孝 先生



生徒には勿論、私共にとつても大変有意義な会になりました。好評を受けて、今後も継続していきたいと思っております。講師の依頼がありました。後輩の為にどうぞよろしくお願ひいたします。

全国定通体育大会には、軟式庭球、柔道、剣道の三部が出場しました。常連といわれている軟式野球部が県大会で惜敗したが、残念でしたが、日本武道館で開催された剣道大会に出場した電気科四年の影山和彦君は、四年連続出場の大賞に輝いて先達ら表彰状と

昨年六月二十四日(日) 佐藤正与校長、増子久治副会長、広江力男事務局長、熊田良治事務局長、それに私の一行は、小雨降る中、午前十一時五十分の新幹線で上京、先崎一郎会長は都合で別行動により日本国で合流した。午後二時一行が日本国に到着した時は、既に東京支部員が続々と集まり、会場は熱気に包まれたような感じであった。おさなりの総会といった、雰囲気は微塵もなく、会員の方々の表情は、久しぶりが友人と再会できるといった期待感のようものが漲り、生き生きと

東京支部総会に参加して

事務局次長 小針 治

昨年六月二十四日(日) 佐藤正与校長、増子久治副会長、広江力男事務局長、熊田良治事務局長、それに私の一行は、小雨降る中、午前十一時五十分の新幹線で上京、先崎一郎会長は都合で別行動により日本国で合流した。午後二時一行が日本国に到着した時は、既に東京支部員が続々と集まり、会場は熱気に包まれたような感じであった。おさなりの総会といった、雰囲気は微塵もなく、会員の方々の表情は、久しぶりが友人と再会できるといった期待感のようものが漲り、生き生きと

●カーコンサルタント

株式会社 今川

代表取締役 今川 直彦 (昭和34年機械科卒)

本社 〒963-01 郡山市安積町荒井東前田37-3 ☎(0249)45-1623(代)

車検センター 郡山市安積二丁目184-1 ☎(0249)45-8300

成田工場 郡山市安積町成田字高田47 ☎(0249)45-2478

営業種目

火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備・防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備
消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増子 久治 (昭和42年電気科卒)

郡山市安積町荒井字北井前4-1 TEL (0249)45-2882(代)
FAX (0249)46-2875

生徒会

◆全日制◆

本年度の生徒会活動は、四月の新生の対面式・部紹介から始まり、この月には、新入生の勧誘や入部で学校全体が活気づき、その後、活躍が期待される。執行部においても、生徒総会を乗り切り、六月には、那須少年自然の家でリーダー講習を実施し、来るべき北領祭の位置づけ・意義・取りくみ方法・運営を復食共にしながら真剣に話し合いました。連



動各会はシニアになると、県南大会のみならず、県大会においても華々しく活躍し、遺憾なく北工健児の意気を感じさせられる。一方、文化系各部においても、全国大会に出場する部があったり、また日頃の成果を発表する台同展が市内で行われ、市民の好評をえた部もありました。いよいよ、メイン行事である北領祭は、未来への進出がテーマで実施され、各部、各科とも創造的かつ斬新で、高い展示発表でした。二日間とも好天に恵まれ、入場者総数も三〇〇〇名を超え、成功裡に終る事が出来ました。総して、本校生は、地味ながらもひたむきな真面目さがあり、また運動能力も高く、潜在可能性を秘めています。今後、いろいろな場において、それらが一つ一つ開花するよう日々頑張つてゆきましょう。

◆定時制◆

四月から生徒会に携わり、生徒会行事に追われながら生徒たちと走り回って一年になるつもりです。本年度は、北領祭という大きな行事もあって、執行部にあたる生徒会役員は特に忙しい思いをしたのではないのでしょうか。定時制は、生徒七十人中十三人が生徒会役員になっていて、各クラスに一人以上いる計算になります。この執行部が中心になって運営していく生徒会の年間目標は、行事の充実・機関紙の発行・部活動推進・あいさつ運動の四つです。役員と一体となってやるという意識が強いのは、生徒会行事で、春と秋の球技大会・校内生活発表会、全員参加です。春の球技大会は、後間照明を利用してのソフトボール、秋は、ダイヤモンドホールまで出かけてのボウリングと定時制らしい企画でした。日頃、学校生活や仕事について考えたり思ったりしていることを書きまわって発表する生活発表会も定時制の代表的な行事です。本年度もこの大会から県南大会へ二人の代表者を送りました。機関紙「よそら」は、報道委員会を中心に奮闘の真つ只中です。二月下旬、今年もいよいよの仕上げが近づいています。本年度の最大の行事であった北領祭も無事に終る事が出来ました。企画から実施まで、何れものつまずきがあったようですが、生徒会企画「ユニセフ募金」も大成功でした。生徒会長の渡辺裕一君をはじめ役員として、本大会に大変な仕事をしたが、良い思い出となるでしょう。また、募金及び募金活動に協

東京支部会 小野寺支部長ら再選 菅野先生元氣に出席



二年ほどに開催される「東京支部・平成元年総会」は、六月二十四日(土)午後五時三十分から、東京都東野の「日本閣」で開かれ、来賓の佐藤正与学校長ら合わせて八十人が出席した。はじめに小野寺昭支部長(部二十四・機)が、「例年になく多くのお客さんが出席していただいたこと、恩師の一人菅野先生がお元氣な姿を見せていただいたこと、大変うれしく思います」と、主催者代表のあいさつ、来賓の先崎一郎同窓会長が「先輩が多いので恐縮しております。一人一人の力は微力ではありますが、卒業生一万人の力の結集は、かなりのパワーを発揮できると思います。明るく楽しく自由活発な運営に努めたい。初代の渡辺前会長ら先輩が築いてくれた基礎の上に立って、母校と本会の発展に努力します」と述べた。佐藤正与学校長も「本校は、工業高校では全国でも有数の恵まれた敷地と環境にあり、また多様な産業界にあり、工業高校のあり方が問われているときです。学習指導要領が変わって、人つくりを進めており、質の向上と学力の向上に力を入れておりま

支部だより

は後間照明を利用してのソフトボール、秋は、ダイヤモンドホールまで出かけてのボウリングと定時制らしい企画でした。日頃、学校生活や仕事について考えたり思ったりしていることを書きまわって発表する生活発表会も定時制の代表的な行事です。本年度もこの大会から県南大会へ二人の代表者を送りました。機関紙「よそら」は、報道委員会を中心に奮闘の真つ只中です。二月下旬、今年もいよいよの仕上げが近づいています。本年度の最大の行事であった北領祭も無事に終る事が出来ました。企画から実施まで、何れものつまずきがあったようですが、生徒会企画「ユニセフ募金」も大成功でした。生徒会長の渡辺裕一君をはじめ役員として、本大会に大変な仕事をしたが、良い思い出となるでしょう。また、募金及び募金活動に協

部活動

◆吹奏楽◆

今年度は部員六十三名といふ人数でいろいろな活動をしました。その中でも吹奏楽コンクール県大会で、一音一心の精神で課題曲と自由曲「火の鳥」を演奏し、念願の金賞を受賞することができました。また北工吹奏楽部のもう一つの顔であるマーチングでも東北代表として、全国マーチ



今年度は部員六十三名といふ人数でいろいろな活動をしました。その中でも吹奏楽コンクール県大会で、一音一心の精神で課題曲と自由曲「火の鳥」を演奏し、念願の金賞を受賞することができました。また北工吹奏楽部のもう一つの顔であるマーチングでも東北代表として、全国マーチ

◆ソフトボール◆

平成元年ソフトボール部の主大会成績は、春季県大会(優勝) 郡山北工 11-7 福島 郡山北工 2-12 福島 県総体大会(準優勝) 郡山北工 3-4 福島 新人県大会(優勝) 郡山北工 11-7 日大東北 南北大会(準優勝) 準決勝 北工 6-5 仙台商 決勝 北工 8-13 白石工 以上のような結果となり、部員一同、来年度は、本年度以上の成績をと、毎日の練習に汗を流しております。(顧問・柳善久)

◆バドミントン◆

今年度団体戦で高校総体・高校新人戦ともに県南大会で優勝を果たした。また、県大会では高校総体二位、高校新人戦三位となった。従って、東北大会には高校総体でしか出場できなかった。とても無念な結果であった。個人戦は県総体県南大会で遠藤浩二君がシングルス・ダブルスの二タイトルを制覇した。また、遠藤・鈴木組が東北大会に出場した。他の者も練習の成果を発揮し、それぞれに良い結果を残した。今後とも一層練習に励み、全国大会出場を目指し頑張りたい。(顧問・平田利文)

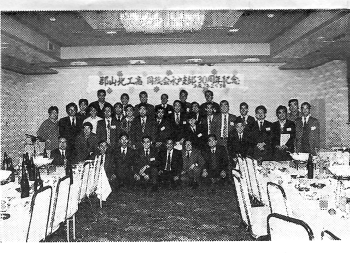
◆陸上競技◆

本年度の陸上競技は、草野義勝君(電三二)の活躍に尽きると思われる。本人は本年度の県I日において五〇〇m、三〇〇m障害書の二冠に輝き、北工の名を高めてくれた。東北大会には、草野、橋本

◆テニス◆

高松市で行われたインターハイは、台風の通過で、会場は水浸しとなり、ハードコートでの開催となった。一回戦は佐賀県立多工工業高校。初戦突破を得意気な黒沢(機三三)・全国大会の雰囲気になやみ緊張気味の島田(情二)入共、三年間の成果をこの一戦へど、大健闘を見たが、3-4で惜敗。四年ぶりのインターハイであったが、これも軟庭部OBの陰に陽のご支援の賜物と深く感謝していることである。(顧問・吉田徳)

記念誌を発行 30周年祝賀会



三十周年を記念して十年ぶりに開かれた「郡山北工高・水戸支部総会」は、平成二年二月三日(土)午後四時から、勝田市駅前の「グランドホテル武田」で開かれ、支部役員長が「思い起こしまと三十三年前、勝田の街に同窓生九人です」と、主催者を代表してあいさつ、中村勝左門幹事が同窓会を代表して「この三十年間、山崎支部長を中心にこれまで支部活動の発展に努めてくれた。苦勞に感謝を申し上げます。本部においても、今後より一層、会の充実のために頑張ります。今後置出す後輩たちのためにも、水戸支部のますますの発展を祈ります」と祝辞を述べた。会務報告の山崎支部長は北窓会の設立に「同窓会と学校・企業をつなぐ協議会、北窓会ができ、この会に卒業生一人一人に卒業証書をささむホルダーが贈られることになりました。これからは山崎支部長を中心に仲良くやって下さい」と激励した。続いて来賓の小

約五十人が出席した。母校から学校長代理の及川利弥教頭、同窓会から渡辺達英顧問ら四人が来賓として出席した。はじめに、山崎功水支部

業側も受け入れ体制は整っている。これからは母校に積極的に働きかけて、一人でも多くの後輩達をこの地に連れて来たいと思います。これから各職場内のブロック活動を

Advertisement for '清水工業' (Shimizu Kogyo) and '東北エントプライズ' (Tohoku Enterprise Prize). Includes contact information for various departments and locations.

昭和63年度 新会員報告

Table with 2 columns: 全日制 (Full-time) and 定時制 (Part-time). Rows include 機械科 (Mechanical), 電気科 (Electrical), 電子科 (Electronic), 情報技術科 (Information Technology), 建築科 (Architecture), 化学工学科 (Chemical Engineering), and 小計 (Subtotal).

昭和63年度 基本金会計報告書

Table with 2 columns: 1. 収入の部 (Income) and 2. 支出の部 (Expenditure). Rows include 繰越金 (Carry-over), 昭和63年度基本金 (Basic fund), 利子 (Interest), 名簿作成残金 (Residual from ledger), 特別費 (Special expenses), 合計 (Total), and 支出 (Expenditure).

名簿作成決算書

Table with 2 columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Rows include 会より3年間(40万円) (From association 3 years), 田西工より名簿作成費 (From Tanishi Kogyo), 生徒名簿購入料 (Student ledger purchase), 同窓生名簿料 (Alumni ledger fee), 利子 (Interest), 学校より (From school), 合計 (Total), 名簿購入費 (Ledger purchase fee), 通信費 (Communication fee), その他 (Others), 合計 (Total), and 差引残高 (Balance forward).

平成元年度 予算・決算報告

Table with 3 columns: 項目 (Item), 昭和63年度決算額 (Fiscal year 63 actual), 平成元年度予算額 (Heisei 1 budget). Rows include 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure) with various sub-items like 繰越金 (Carry-over), 会費 (Fees), 雑収入 (Miscellaneous income), etc.

同窓会規約

- 第一章 総則 (General Provisions)
第1条 本会は福島県立郡山北工業高等学校同窓会と称し、本会の本部事務局は、福島県立郡山北郡山高等学校(以下「母校」と称す)内におく。
第二章 会員 (Members)
第4条 会員を分けて普通会員、顧問名誉会員、特別会員、準会員とする。
第三章 役員 (Officers)
第5条 本会に次の役員をおく。
1. 会長 1名 2. 副会長 4名
3. 監事 3名 4. 幹事 若干名
5. 事務局長 1名 6. 事務局次長 2名
7. 連絡員 各クラス1名
第四章 会議 (Meetings)
第8条 本会の会議は総会・幹事会とする。
1. 総会は本会の最高決議機関であつて、毎年1回会長がこれを召集する。但し幹事会が必要と認められた場合は、臨時に開くことができる。
2. 幹事会は正副会長・事務局長・同次長・常任幹事・監事で構成し、総会につぐ決議機関で会務を審議執行する。
第五章 会費・会計及び諸帳簿 (Fees, Accounting, and Ledgers)
第10条 本会の経費は会費・入会費・事業収入・寄附金をもってあてる。
第六章 雑則 (Miscellaneous Provisions)
第15条 本会に次の集会を設けることができる。
1. 各支部会 2. 各科会 3. 同級会
4. その他の会
これらの運営はそれぞれの規約による。
第七章 附則 (Supplementary Provisions)
第18条 この規約は昭和52年12月18日より施行する。
2. この規約は昭和55年5月18日より施行する。
3. この規約は平成元年5月21日より施行する。

編集後記

平成二年度定期総会を左記のように開催いたしました。多数参加して下さり、誠にありがとうございました。
●平成二年度の総会は、新会長になって初めての総会である。従つて今回は総会だよりを御覧になれば、おわかりのように郡山ビューホテルで会費五千元となります。来賓として例年の外に郡山商工会議所会頭、郡山市内の本校卒業生が多数入社している会社、工場、事業所等にも招待状を出しておりますので、会員の方々多数出席して下さいませ。よう御願ひ申し上げます。
(事務局長 広江力男)
●本会報の発行につきましては、なにかと皆様には協力力いただき、心から厚く御礼申し上げます。
なお、今年よりできるだけ詳細にご報告できるように、紙面を大きくいたしました。
(編集委員 佐々木郁雄)

同窓会総会通知

平成二年度定期総会を左記のように開催いたします。多数参加して下さいませ。
(案内申し上げます)
なお新会員(平成二年卒業生)は会費五千元です。
一、五月十九日(土)
午後三時より
(郡山市中町)
一、郡山ビューホテル
一、会費 五千元

営業品目

自社製造品(セパレーター各種・両ネジ・金ネジボルト・ボルト全般)
仮設型枠資材・仮設機材・土木建設資材
設備機材・軽量天井・間仕切材

(有)協栄ネジ

代表取締役 猪越 幹雄 (昭和30年機械科卒)

本社/〒962-04 福島県須賀川市大字滑川字中津沢46の1
TEL (0248) 76-0215(代)
FAX (0248) 76-1789
工場/郡山・須賀川・千葉 営業所/仙台・千葉・関東

冷暖房空調・給排水衛生設備・浄化槽及各種水処理
消火設備・上下水道施設工事

設計・施工・管理

県知事許可(特-62) 4141

山田設備工業株式会社

代表取締役 山田 義顯 (昭和35年機械科卒)

福島県白河市南堀切158-2 TEL (0248) 21-1195(代)
FAX (0248) 23-2150

私たちは、新年度総会のご盛会をお祈りいたします。事務局及び役員・幹事までお申し込み下さい。会員の皆様の多数の出席をお待ちしております。

OA・音響・家電・映像・自動車・暖房機器の
金属プレス加工メーカー

石橋工業株式会社

代表取締役 石橋 隆純
専務取締役 石橋 邦勝 (昭和33年機械科卒)
取締役営業部長 桑 名 武 義 (昭和35年機械科卒)

郡山市安積町成田字三渡一 TEL (0249) 45-3411
FAX (0249) 46-1145

《技術と信頼》

- 鉄骨建築一式工事 ●新日鉄スタンパッケージ
●新日鉄NSTラス ●建築一式工事
新日鉄一次加工指定工場・全構連認定工場

株式会社 久保田鉄工所

代表取締役 佐藤 進一 (昭和27年機械科卒)
精度検査主任 吉田 清恵 (昭和51年機械科卒)

〒963 福島県郡山市富田町西町下15番地 TEL (0249) 51-0253(代)
FAX (0249) 51-1399